

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[安定型](平成 30年 4月度)

埋め立てた産業廃棄物の種類及び数量[規12条の7の3の3イ]

種類	数量(単位)	
廃プラスチック類	41.4900	(t/月)
ゴムくず	0.0000	(t/月)
金属くず	0.0000	(t/月)
ガラスくず及び陶磁器くず	3.0800	(t/月)
がれき類	0.0000	(t/月)
アスベスト含有 ガラス・陶磁器	5.5620	(t/月)
〃 プラスチック	0.0000	(t/月)
〃 金属くず	0.3000	(t/月)
〃 がれき	6.1500	(t/月)
	56.5820	(t/月)

展開検査の実施状況[規12条の7の3の3ハ]

実施回数	25台 25回
展開検査の場所	別紙1の「場内見取図」の通り
安定型産業廃棄物以外の 廃棄物の付着又は混入が 認められた年月日	平成 年 月 日
	平成 年 月 日
	平成 年 月 日
	平成 年 月 日

浸透水のBOD又はCOD検査の実施状況と措置(月1回実施)[規12条の7の3の3ニ及びホ]

採取場所	別紙1の通り*1(浸透水採水1号)	
採取日	平成30年4月16日	
分析結果が得られた日	平成30年5月7日	
BOD*2		基準値 20mg/l以下
COD*2	6.1mg/l	基準値 40mg/l以下
異常の有無	有 ・ 無	
必要な措置を講じた年月日 とその内容		

水質検査の実施状況と措置(年1回測定)[規12条の7の3の3ニ及びホ]

採取場所	別紙1の通り*1	別紙1の通り*1	別紙1の通り*1
採取日	平成30年4月16日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
分析結果が得られた日	平成30年5月7日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
分析結果	別紙2の通り*3	別紙2の通り*3	別紙2の通り*3
異常の有無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
必要な措置を講じた 年月日とその内容	<p>【水質分析値について】</p> <p>4月は、地下水検査25項目の3箇所 分析の他、シアン関連、ヒ素・鉛の 継続的監視の水質分析もあった為 時間がかかり、5月7日に計量証明書を 頂きました。浸透水の一部項目に 「検出された」物質がありましたが、 環境基準値を超えることはなく 7日朝、環境センター小澤主任宛に 計量証明書をFAX送信致しました。</p>	<p>5月以降も年度初めの計画通り 水質分析を行なっています。 【検出された場所、項目、分析値】 浸透水採水1号 「カドミウム」0.007mg/l 「テトラクロロエチレン」0.0008mg/l 7-1号井戸 「鉛」0.006mg/l ※但し、3物質ともに環境基準値は 超過していません。</p>	

施設の点検[規12条の7の3の3ロ]

	擁壁等
点検日	平成30年4月16日
異常の有無	有 ・ 無
必要な措置を講じた年月日及び当該措置の内容*4	<p>4月25日、環境センター小澤主任へ、3月13日立ち入り検査時の 指摘事項であった①場内入り口看板の修正、②隣接境界の 明確化についてそれぞれ写真を添付し、指摘事項の改善報告書を 提出して、受理頂きました。 指摘事項の他2項目について、③会社作成の場内見取り図と 環境センター届け出の図面との差異、④残余容積の記録については 今後、随時作成に入る旨を報告書に書き添えておきました。 (環境センター届け出図面は平成18年10月19日提出のもの)</p>

*1 処分場の平面図に位置を明示すること。 *2 いずれかを記載すること。 *3 別紙2に記載するか計量証明書を添付すること。 *4 異常が認められた場合のみ記入すること。